

Windows 11 のインストールと設定

BIOS の設定	1
Microsoft アカウントなしで Windows 11 をインストールする	2
Microsoft アカウントをバイパスできる Windows 11 インストール ディスクを作成する方法	3
Windows インストール時の設定	5
Windows 11 での「ドラッグ アンド ドロップ」と「管理者として実行」に関する注意.....	5
Windows 11 の効率モード (タスク マネージャー) に関する注意.....	5
デバイスドライバーのインストール	6
Windows コントロール パネル	6
BitLocker ドライブ暗号化.....	6
デバイスマネージャ.....	6
Windows の設定	9
システム.....	9
個人用設定.....	11
アプリ.....	11
ゲーム.....	12
プライバシーとセキュリティ.....	12
Windows アップデート.....	13
追加設定	13
Windows ストア.....	13
OneDrive.....	14
WinSAT.....	14
メディアドライブ.....	15
システム構成と起動	16
Windows 11 アップデートの設定	17
Windows 11 の新しいメジャーバージョンへのアップデートを阻止する.....	19
DPC レイテンシー チェック	20



BIOS の設定

このセクションの目的は、リアルタイムアプリケーションであるDAWのために重要な、安定したCPU動作を実現することです。

BIOSにアクセスできるのであれば、全ての パワーマネジメント機能を無効 (**Disable**) に設定してください。パワーマネジメント機能は CPUの動作スピードを変化させます。CPUの動作スピードを変化させることは、オーディオアプリケーションには不適切です。Overclockも同様です。

これらの設定は、各マザーボード ベンダーにより異なります。マザーボードのマニュアルをご覧ください。

Intel Turbo Boost Technology : **Disable**

CPU Enhanced Halt (C1E) : **Disable**

CPU Cache Ratio : **Disable**

BCLK Frequency : **Disable**

BCLK Speed Spectrum : **Disable**

Ring to Core Ratio Offset : **Disable**

C-State Support (C3, C6, C7, C8 State) : **Disable**

C6DRAM : **Disable**

CPU EIST Function : **Disable** (これは *Intel Enhanced SpeedStep* となっている場合もあります)

CPU power saving mode : **Disable**

Intel Turbo Boost Technology : **Disable**

Intel Turbo Boost Technology 3.0 : **Disable**

Intel Thermal Velocity Boost Voltage Optimizations : **Disable**

Dual Tau Boost : **Disable**

CPU Thermal Throttling : **Disable**

AVX2 Ratio Offset : **Enable**

AVX5L2 Ratio Offset : **Enable**

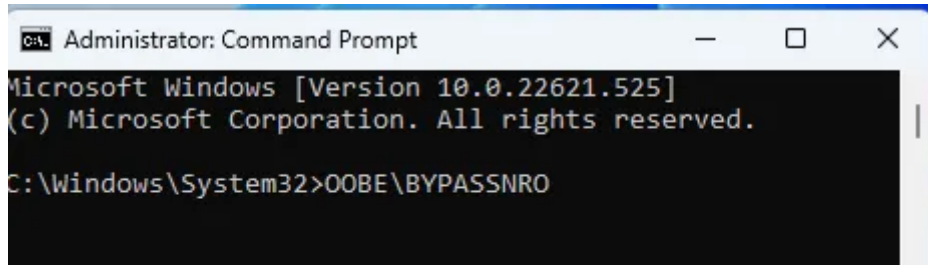
注意:ラップトップPCにはCPUの電源管理の問題を防ぐためのBIOSオプションがほとんどありません。Windowsの 電源オプションで設定できるかどうかを確認してください。





Microsoft アカウントなしで Windows 11 をインストールする

1. 「国を選択」画面が表示されるまで、Windows 11 のインストール プロセスに従います。
2. **Shift + F10** を押します。コマンドプロンプトが表示されます。
3. インターネット接続要件を無効にするために、**OOBE\BYPASSNRO** と入力します。

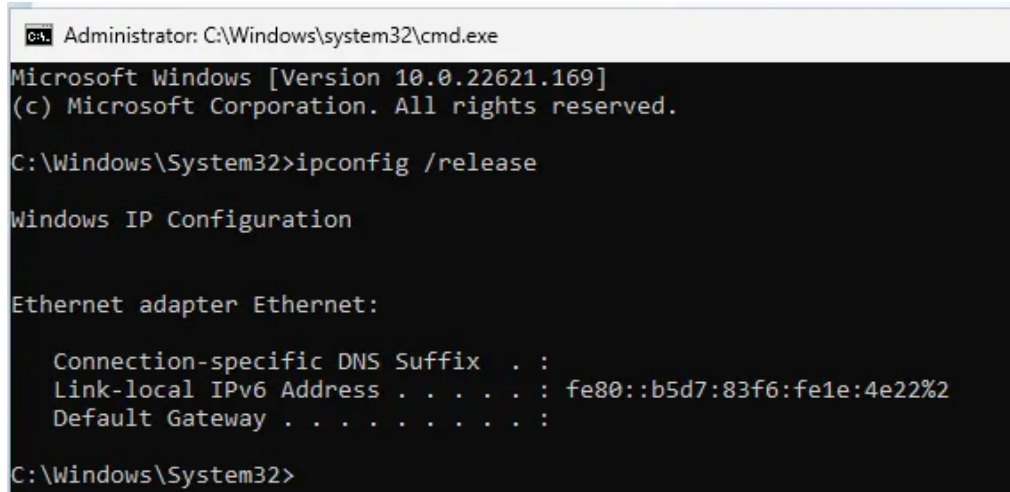


```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 10.0.22621.525]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>OOBE\BYPASSNRO
```

コンピュータが再起動し、この画面に戻ります。

4. もう一度 **Shift + F10** を押して、今度は **ipconfig /release** と入力し、**Enter** を押してインターネットを無効にします。



```
Administrator: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.22621.169]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\System32>ipconfig /release

Windows IP Configuration

Ethernet adapter Ethernet:

    Connection-specific DNS Suffix  . :
    Link-local IPv6 Address . . . . . : fe80::b5d7:83f6:fe1e:4e22%2
    Default Gateway . . . . . :
```

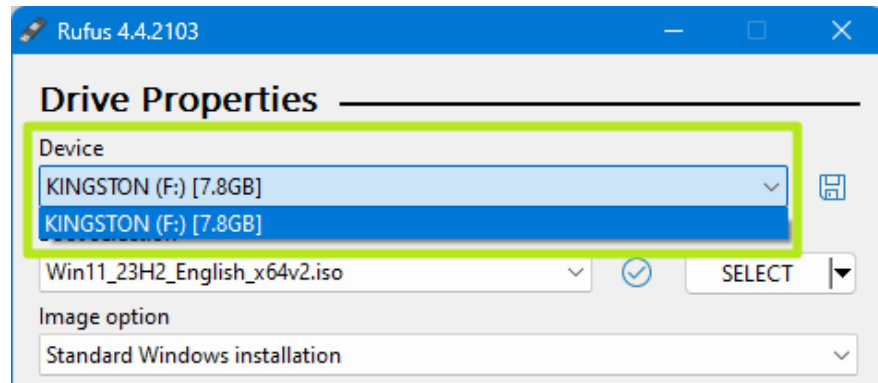
コマンドプロンプトを閉じます。

5. 地域、キーボード、および 2 番目のキーボード オプションを選択して、インストールを続行します。
6. 「ネットワークに接続しましょう」という画面が表示され、インターネットが必要であることが警告されます。
「インターネットがありません」をクリックして続行します。
7. 「制限付きセットアップを続行」をクリックします。
8. ローカル アカウントに使用するユーザー名を入力し、「次へ」をクリックします。
9. フィールドを空白のままにするとパスワードを設定しないことができます。
10. 残りのインストール プロセスを通常どおり完了します。



Microsoft アカウントをバイパスできる Windows 11 インストール ディスクを作成する方法

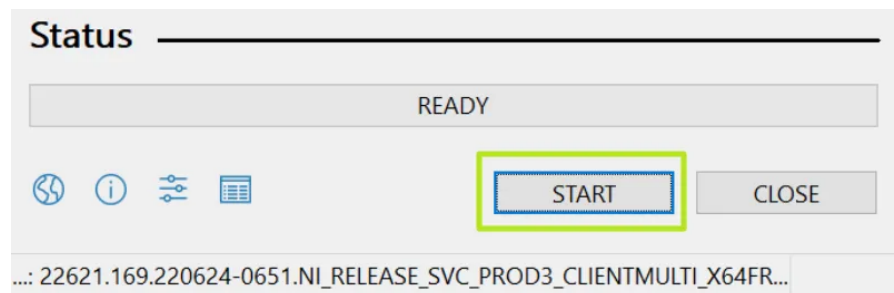
1. Microsoft から [Windows 11 ISO ファイル](#) をダウンロードします。
2. インストール ディスクとして使用するUSB フラッシュドライブを挿入します。
3. [Rufus](#) のバージョン 4.4 以降をダウンロードして起動します。
4. Rufus のメニューからUSBドライブを選択します。



5. 「選択」をクリックし、ISO ファイルを選択します。



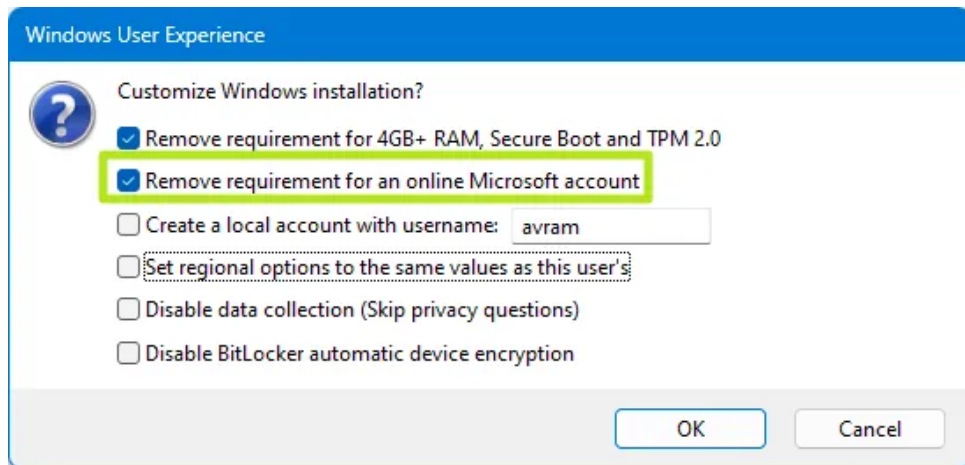
6. Rufus ウィンドウの下部にある「開始」をクリックします。



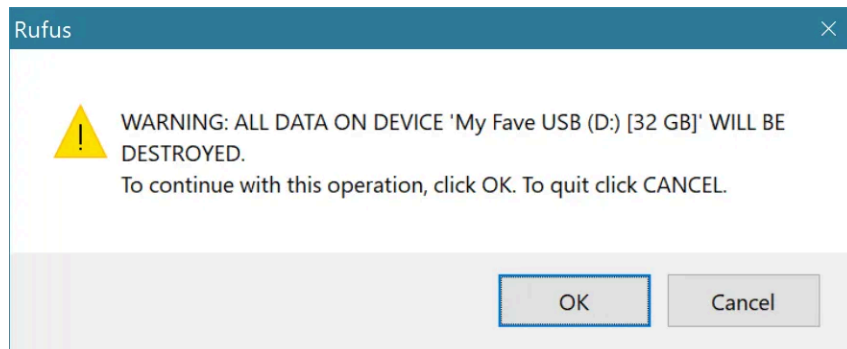
7. Windows 11 のインストール要件をバイパスするためのいくつかのオプションを含むダイアログ ボックスが表示されます。
 - a. 「オンライン Microsoft アカウントの要件を削除する」をオンに切り替えて、「OK」をクリックします。
 - b. セキュア ブート/TPM 2.0 と RAM 要件の削除を含む他のオプションをオンに切り替えることもできます。



- c. 「ユーザー名でローカル アカウントを作成する」をオンに切り替えて、ここでユーザー名を入力すると、インストール中にプロンプトが表示されなくなります。
- d. 「地域のオプションをこのユーザーと同じ値に設定する」をオンに切り替えると、国やキーボードの入力を求めるプロンプトが表示されなくなります。



8. Rufus が USB フラッシュドライブ上のすべてのデータを破棄するという警告が表示されたら、「OK」をクリックします。ドライブのすべての内容が上書きされます。



Rufus が USB フラッシュドライブにファイルをコピーするのに数分かかります。

完了すると、起動可能なフラッシュドライブが作成されます。

インストール中に画面にアイスクリーム コーンが表示されたら、必ず「スキップ」をクリックしてください。



Windows インストール時の設定

Windows インストール中に「プライバシー設定」を設定するように要求してきます。

- 全てのオプションを OFF にしてください。
- また、ユーザーエクスペリエンス、OneDrive、Office試用版 は スキップしてください。

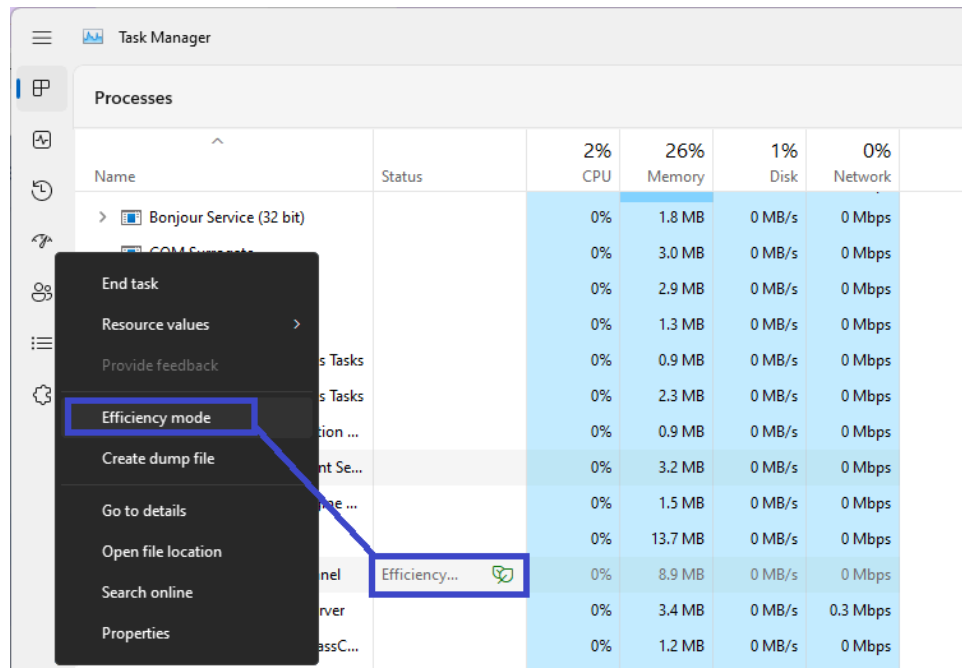
Windows 11 での「ドラッグ アンド ドロップ」と「管理者として実行」に関する注意

Windows 11 では、プログラムを強制的に「管理者モード」や「管理者として実行」で実行すると、そのアプリケーションへのドラッグ アンド ドロップ や、そのアプリケーションからのドラッグ アンド ドロップ が無効になります。

Windows 11 の効率モード (タスク マネージャー) に関する注意

Windows 11 22H2 以降、タスク マネージャーのプロセスまたは詳細タブで、プロセスを右クリックして効率モードをアクティブにすることができます。

- このオプションは、Merging Technologies 関連のプロセスではアクティブにしないでください。
- 効率モードがアクティブなプロセスの横に、葉のアイコンが表示されます。





デバイスドライバーのインストール

- Merging では、WHQL (Microsoft 認定のドライバー) をインストールするか、マザーボード / グラフィックカード の製造元の Web サイトにアクセスし、最新のドライバーをインストールしてください。
- ドライバーのみをインストールし、ユーティリティはインストールしないでください。多くの問題が発生し、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- Intel® Rapid Storage Technology インストーラーまたは Intel® Management Engine インストーラーに含まれている **Intel® Control Center** は **インストールしない** ください。
- グラフィックカードドライバーをインストールし、Merging Graphic Cards の推奨設定ページに従ってドライバーを設定して下さい。ドライバーが適切に設定されていないと、不具合やドロップが発生する可能性があります。

Windows コントロール パネル

Windows 11 コントロール パネルにアクセスするには、Windows 検索ボックス(スタート ボタンの横)に「control panel」と入力します。

検索結果からコントロール パネル アイコンを右クリックして、スタート メニューまたはタスク バーにピン留めすることができます。

BitLocker ドライブ暗号化

BitLocker ドライブ暗号化により、ドライブのパフォーマンスが著しく低下する可能性があります。システムドライブとメディアドライブの BitLocker がオフになっていることを確認してください。

デバイスマネージャ

ポート (COMとLPT)

9ピンRS422接続を使用する場合:

- 通信ポート (COM x) > プロパティ
- ポート設定 タブ > 詳細設定 > 受信 バッファと 送信バッファの両方を 低(4) に 設定

ユニバーサル シリアル バス コントローラー

- 各 USB ルート ハブ/ホスト コントローラーをチェックし、右クリックしてプロパティにアクセスして、「電源管理」を無効にします。

ネットワーク アダプター

Audio-Over-IP に使用するネットワーク アダプターを設定する必要があります。

- ネットワーク アダプターを右クリックしてプロパティにアクセスし、電源管理機能 (Energy Efficient Ethernet) を無効にします。
- Green Ethernet
- 超低電力モード (Ultra Low Power mode)
- システム アイドル時の省電力 (System Idle Power Saver)
- すべての省電力/電源管理機能

を 無効 (**Disabled**) にします (機能名は製造元によって異なります)。

- **WOL**
- シャットダウン リンク速度 (**Shutdown Link Speed**) を「速度低下なし (Not Speed Down)」に 設定します。



または「速度を下げる(Reduce Speed on Power Down)」を無効(Disabled)にします。

エキスポローラー

表示タブ で

- 隠しファイルとフォルダ: 隠しファイル、隠しフォルダ、または隠しドライブを表示する
- 空のドライブを非表示にする: 無効
- 既知のファイルタイプの拡張子を非表示にする: 無効
- 保護されたオペレーティングシステムファイルを非表示にする(推奨): 有効

電源オプション

「高速スタートアップ機能」を無効にしてください。

1. 電源オプション ページの左側にある「電源ボタンの動作を選択する」をクリックし、
2. 「現在利用可能ではない設定を変更する」をクリックし、
3. 「高速スタートアップを有効にする」オプションのチェックを外します。
4. 「変更を保存」をクリックします。

メインの電源オプション ページで、

- 電源設定を「高パフォーマンス」または「究極のパフォーマンス」に設定します。

究極のパフォーマンス電源プランが利用できない場合は、コマンド プロンプト(CMD)を開き、次の行を貼り付けます:

```
powercfg -duplicatescheme e9a42b02-d5df-448d-aa00-03f14749eb61
```

Enter キーを押すと、電源プランがリストに追加されます。

「プラン設定の変更 - 詳細な電源設定の変更」をクリックし、次の設定を適用してください。

- 「スクリーンセーバー (ディスプレイの電源を切る)」は「なし」に設定
- 「コンピューターをスリープ状態にする」は「なし」に設定

「詳細な電源設定の変更」で以下を確認します。

- ハード ディスク >
 - 次の時間が経過後ハード ディスクの電源を切る: なし
- デスクトップの背景設定 >
 - スライドショー: 一時停止
- スリープ >
 - 次の時間が経過後スリープ: なし
 - ハイブリッド スリープを許可する: オフ
 - 次の時間 が経過後休止状態 になる: なし
 - ウェイク タイマーを許可する: 無効
- USB 設定 >
 - USB のセレクトティブ サスペンド設定: 無効
- PCI Express >
 - リンク状態の電源管理: オフ
- プロセッサ電源管理 >
 - システム冷却ポリシー: アクティブ
 - 最小および最大のプロセッサ状態: 100%

サウンド

- 「サウンドなし」に設定



- 「Windows 設定」>「システム」>「通知」で「通知でサウンドを再生できるようにする」のチェックを外します。

ユーザー

- Windows ユーザー アカウント制御(UAC)を無効にしてください。

Windows Defender ファイアウォール

- Windows ファイアウォールを無効にしてください。
- ファイアウォールを無効にできない場合は、以下のポートとファイルがファイアウォールを通るように設定してください。

Firewall ports

Bonjour Network Discovery : UDP 5353

Merging Audio Device / RAVENNA ASIO Driver : TCP 9090

NMOS : TCP 1936

Merging Audio Device V1 & 2

C:\Program Files\Bonjour\mDNSResponder.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Merging Audio Device\MADSrv.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Merging Audio Device\MADPanel.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Merging Audio Device\RavennaASIOSrv.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Merging Audio Device\NADAC.exe

MERGING+NADAC / MERGING+PLAYER Users only

Pyramix 25th - 14 / Ovation 9 - 10 / VCube 9 -10

C:\Program Files\Bonjour\mDNSResponder.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\MTDiscovery\MTDiscovery.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Pyramix Virtual Studio\Pyramix.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\Ovation/Ovation.exe

C:\Program Files\merging technologies\vcube\vcube.exe

C:\Program Files\Common Files\Merging Technologies\VS3\VS3Panel.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\ANEMAN\ANEMAN.exe

C:\Program Files\Merging Technologies\MTDiscovery\MTDiscovery.exe



Windows の設定

システム

ディスプレイ > グラフィックス

- デフォルトのグラフィック設定を変更します。システムでハードウェア アクセラレーション GPU スケジューリング機能が利用可能な場合は、この機能を有効にすることをお勧めします(グラフィック カードの機能によって異なります。グラフィック カード ドライバーがインストールされている必要があります)。
- アプリのカスタム オプション。グラフィック電源管理機能は、アプリケーションごとに設定できます。「デスクトップ アプリ」を選択し、C:\Program Files\Merging Technologies を参照します。構成に応じて、Pyramix.exe - Ovation.exe - VCube.exe - Aneman.exe を追加します。次に、アプリケーションを選択して「オプション」をクリックし、グラフィック設定を「高パフォーマンス」に設定します。Microsoft Edge を使用する場合も、「高パフォーマンス」に設定してください。Google Chrome を使用する場合は、C:\Program Files\Google\Chrome\Application を参照し、「高パフォーマンス」に設定します。この設定は、特にデュアル グラフィック カードを搭載したラップトップでは重要です。

通知

- 「デバイスの設定方法に関する提案を表示する」と「Windows を使用するときヒントや提案を表示する」を無効にしてください。

電源とスリープ

- ここでは何も設定せず、コントロールパネルの「電源オプション」で設定を行ってください。

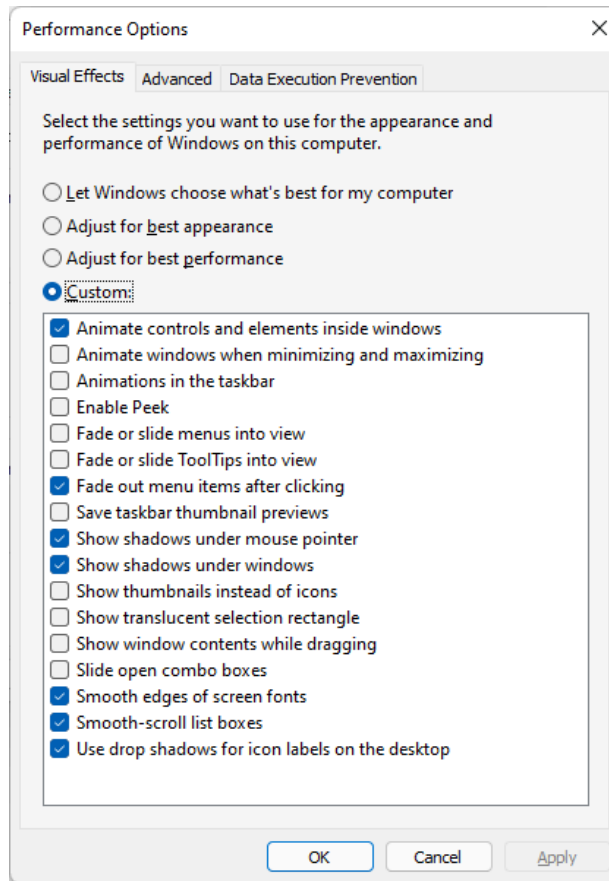
マルチタスク

- スナップのオプションは使用しないようにしてください。
- バーチャルデスクトップも使用しないようにしてください。

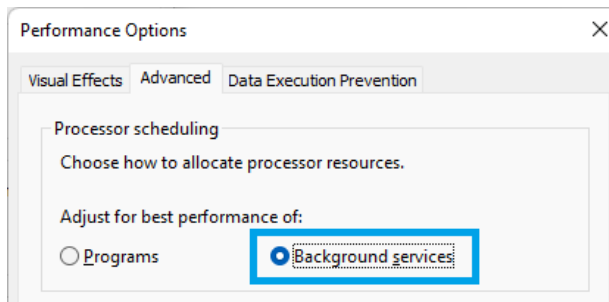
詳細情報

「システムの詳細情報」をクリックで開き、「詳細設定」>「パフォーマンス」を開きます。

- 「視覚効果」タブで、ピークを防ぐために以下のチェックを外してください。
 - 最小化および最大化時にウィンドウをアニメーション化する:無効
 - タスクバーとスタート メニューのアニメーション:無効
 - ピークを有効にする:無効
 - メニュー/ツールヒントをフェードまたはスライドして表示する:無効
 - タスクバーのサムネイル プレビューを保存する:無効
 - 半透明の選択四角形を表示する:無効
 - ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する:無効
 - コンボ ボックスをスライドして開く:無効

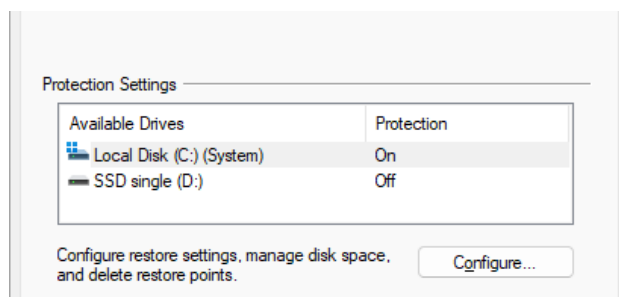


- さらに「詳細設定」タブを開き、プロセッサのスケジュールで「バックグラウンドサービス」にチェックを入れ、OKで閉じてください。



次に「システムの保護」タブを開いてください。

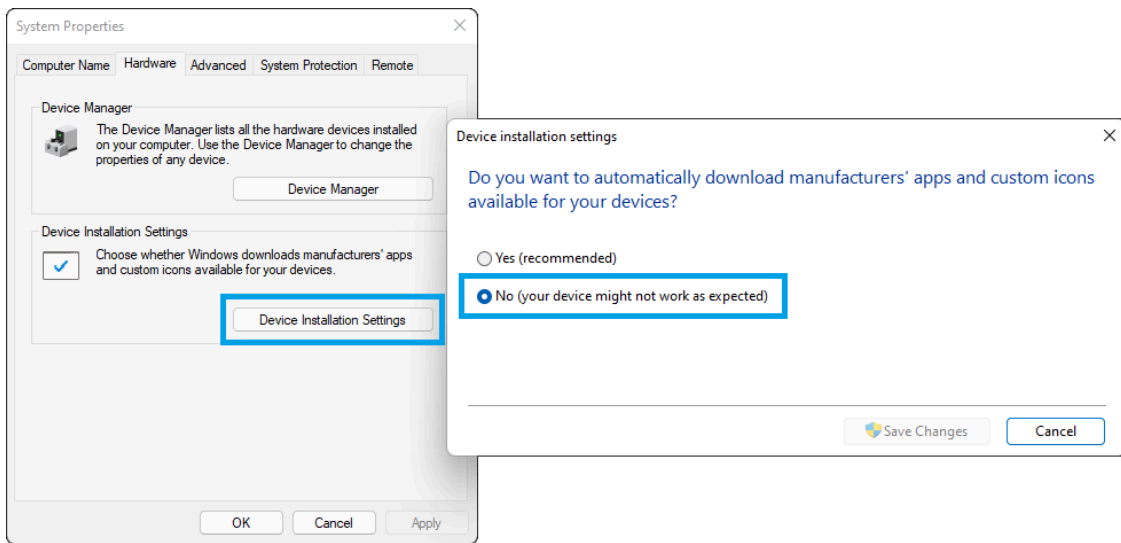
- OSのインストールされたHDD/SSDのみ保護を有効に設定してください。
ディスク領域の使用量は、10%程度確保すれば結構です。





OKで「システムのプロパティ」に戻り、「ハードウェア」タブを開いてください。

- 「デバイスのインストール設定」を開き、「いいえ(デバイスが適切に機能しない可能性があります)(N)」側にチェックを入れてください。



個人用設定

Windows の透明度は、特にグラフィック リソースが少ないシステムでは問題を引き起こす可能性があります。

- 「個人用設定」>「色」で、「透明効果」を「オフ」に設定します。
- 「タスク バー」では、特にグラフィック リソースが少ないシステムでは、「タスク バー項目」>「ウィジェット」を無効にすることをお勧めします。リアルタイム操作(録音など)中にウィジェットを使用することはお勧めしません。
- 「デバイスの使用状況」では、すべてのオプションを無効にすることをお勧めします (Windows が通知なしでアプリをダウンロードしないようにするため)。

アプリ

アプリと機能

アプリケーションの横にある 3 つのドットをクリックして、不要なアプリケーションをすべてアンインストールしてください。

一部のアプリケーションはアンインストールできません(アラームと時計など)。

アンインストール ボタンは無効になります。

Merging 製品には Bonjour が必要です。アンインストールしないでください。

Mergingでは、

- Microsoft News
- Weather
- Xbox
- Xbox Live

をアンインストールすることを推奨しています。

また、Feedback Hub、メールとカレンダー、Microsoft To Do、Microsoft Solitaire Collection、Office(試用版)、Power Automate、Skype を削除することもできます。

CPUリソースが少ないコンピューターでは、バックグラウンドで実行されているアプリケーションも無効にする必要があります。

以下のアプリケーションのバックグラウンド実行を無効にできます:

- フィードバック ハブ、
- Groove ミュージック、



- メールとカレンダー、
 - Microsoft New、
 - Microsoft One Drive、
 - Microsoft To Do、
 - 映画とテレビ、
 - Office、
 - Power Automate、
 - 天気予報
- ...および Windows ストアによってインストールされたその他のアプリケーション

デフォルト アプリ

- デフォルト アプリで、Google Chrome を選択し「デフォルトに設定」ボタンをクリックします。
- MassCoreシステムでは、起動時に RTX64Bootcheck を無効にしないでください(RTX64 システムトレイは無効にできます)。
- Microsoft Edge を無効にしないでください。Windows 内で問題が発生する(またはグラフィックの遅延が発生する)可能性があります。

ゲーム

- Xbox ゲーム バー、キャプチャ、ゲーム モードのすべてのオプションをオフにします。

プライバシーとセキュリティ

- Windows セキュリティの完全なウイルス スキャンは、Merging ソフトウェアと同時に実行しないでください。
- ウイルス対策ソフトウェアをインストールする場合、Windows Defender は無効になります(AVAST は、既に Merging プログラムで多くの問題を引き起こしているため、推奨しません)。
- Pyramix ファイル(pmx、pmf、pml、pad、pmw)だけでなくメディア ファイル(wav、aif、flac、mp3 など)のスキャンも無効にする必要があります。これは、DAW がそのようなファイルにアクセスするたびに、ウイルス対策ソフトウェアがファイルをスキャンする可能性があるためです。ウイルス対策ソフトウェアの例外を設定する方法については、[このページを参照してください](#)。
- Windows Defender ユーザーは、Windows Defender に必要なルールを含むスクリプトをダウンロードして実行できます。
- MTWindowsDefenderExclusions.zip Windows Defender の自動スキャンは、Windows タスク スケジューラで設定する必要があります。
 - Windowsのスタート メニュー> すべてのアプリ > Windows ツール > タスク スケジューラに移動します。タスク スケジューラ ライブラリを参照して、Microsoft > Windows > Windows Defender を選択します。Windows Defender Scheduled Scan タスクを右クリックし、プロパティを選択します。
 - 「条件」タブで、「コンピューターがアイドル状態の場合にのみ開始」に設定し、「コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止」に設定します。
- スマート アプリ コントロール(SAC)は、信頼できないアプリケーションや潜在的に危険なアプリケーションをブロックするために Windows セキュリティ アプリを通じて利用できる新しいセキュリティ機能です。この機能はまだ完全にはテストされていません。



- Windows セキュリティ > デバイス セキュリティ: コア分離で、コア分離/メモリ整合性をオフに設定してください。
- 「Windows のアクセス許可」で、「アプリが広告 ID を使用してパーソナライズされた広告を表示することを許可する」と「設定アプリでおすすめのコンテンツを表示する」をオフにしてください。
- 「診断とフィードバック」では、基本的な診断データのみを送信することをお勧めしています。「オプションの診断データを送信する」「手書き入力とタイピングを改善する」「カスタマイズされたエクスペリエンス」「診断データの表示」はすべてオフにできます。
- 「アクティビティ履歴」OS のインターネットトラフィックを減らすには、「アクティビティ履歴を Microsoft に送信する」をオフにします。Windows の検索では「インデックス作成時に電源設定を尊重する」および「ファイルの検索 - 拡張モード」はどちらも CPU 消費量を増やすため、オフにしてください。

Windows アップデート

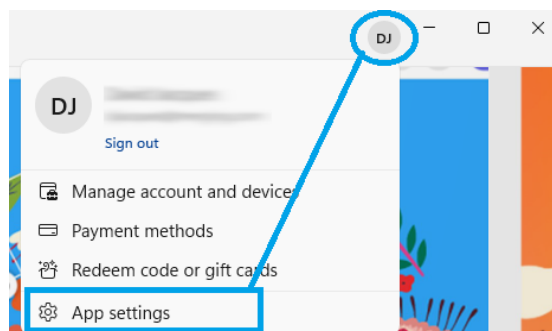
- 詳細オプションの「最新の状態にする」はオフにしてください(更新プログラムの適用後に Windows が自動的に再起動しないようにするため)。
- 「更新を完了するために再起動が必要な場合に通知する」は有効にできます。
- 「アクティブ時間」により、定義された時間内に更新後に Windows が再起動されるのを防ぎます。
- 「配信の最適化 - 他の PC からのダウンロードを許可する」はオフにしてください。
- 「構成された更新ポリシー」により、ポリシーが適用されているかどうかを確認できます。以下の Windows 11 更新構成を参照してください。

追加設定

Windows ストア


パフォーマンス向上のため、アプリの自動更新を無効にすることを推奨しています。

- Windowsストアを開き、
- 右上隅のプロファイル アイコンをクリックして、アプリ設定を選択します。
- 「アプリの更新」をオフにします。



OneDrive

OneDriveを使用する場合は、ネットワークトラフィックに干渉しないように設定する必要があります。OneDrive アイコン を 右クリックします。

- 「通知領域」で  をクリックし、設定を選択します。
- 全般セクションで「Windows にサインインするときに OneDrive を自動的に起動する」を削除します。



- ネットワーク タブで、アップロード速度 と ダウンロード速度の両方を「制限: 125 KB/秒(またはそれ以下)」に設定します。

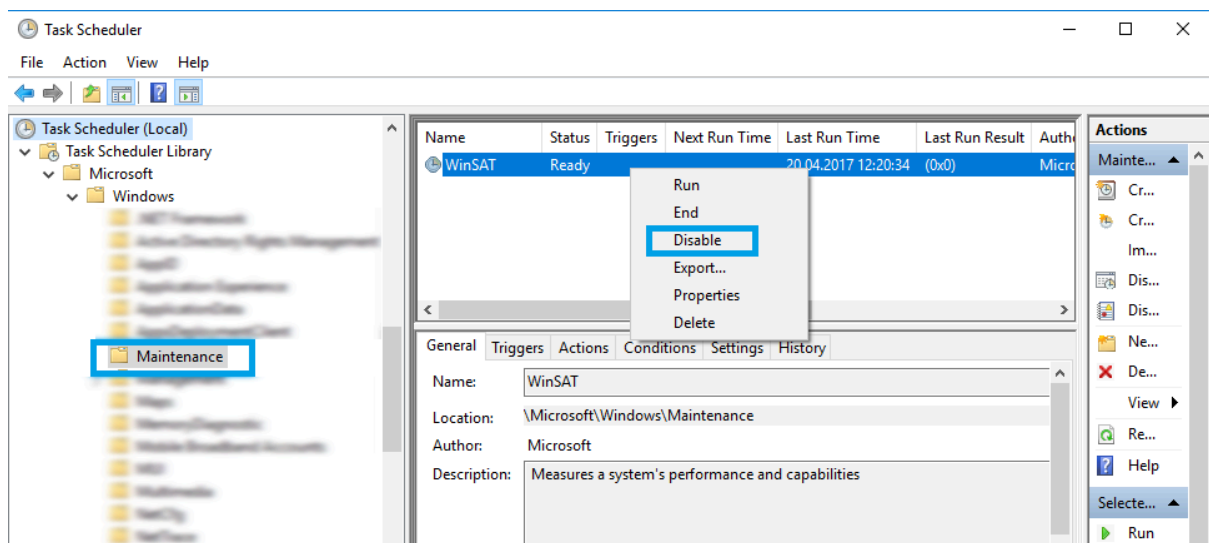
OneDriveを使用しない場合は、Windows の設定 > アプリ > アプリと機能でアンインストールできます。

WinSAT

Windows システム評価ツール(WinSAT)は、システム ページに表示されるシステム評価を計算するためのものです。

リアルタイム操作中に WinSAT を実行すると、ドロップアウトや CPU/コア ピークが発生する可能性があるため、これを無効にするか システムがアイドル状態の場合にのみ実行するように設定することをお勧めします。

- Windows のスタートメニュー-> すべてのアプリ > Windows ツール > タスク スケジューラに移動します。
- タスク スケジューラ ライブラリを参照して、Microsoft > Windows > メンテナンスに移動します。WinSAT タスクを右クリックし「無効」を選択します。



「無効」にしたいくない場合は、プロパティにアクセスし「条件」タブで「コンピューターがアイドル状態の場合にのみ開始し、コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する」ように設定します。



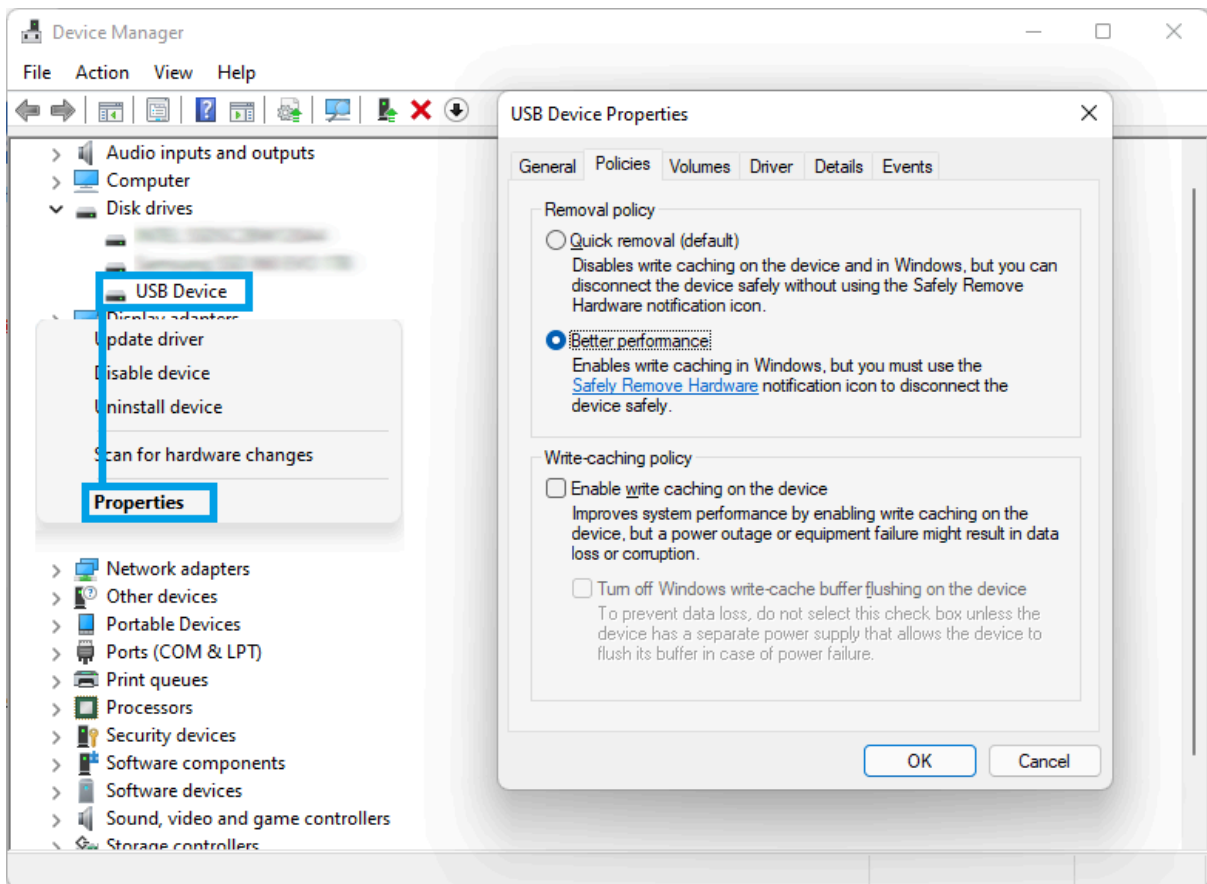
メディアドライブ

デフォルトでは、Windows はすべてのドライブのコンテンツをインデックス化するため、Windows Search の動作が速くなります。

ただし、このインデックス化タスクは CPU パワーを消費し、録画時にパフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

- Windows のインデックス化を無効にするには、ファイル エクスプローラーを開き、「PC」を選択して、メディアドライブを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 「このドライブ上のファイルに対して、ファイル プロパティだけでなくコンテンツのインデックス化を許可する」チェックボックス をオフにします。
- 「このドライブを圧縮してディスク領域を節約する」は絶対に使用しないでください。

外付けドライブ: Windows デバイス マネージャー>ディスクドライブから外付けドライブのプロパティにアクセスし、パフォーマンスを最適化するように設定します。



フォーマット ブロック サイズ: オーディオ ファイルのみを使用する場合、ドライブをフォーマットする際の最適なサイズは **64 Kb** です。

ただし、ビデオ ファイルも使用する必要がある場合、64 Kb は最適なサイズではありません。その場合は、既定の割り当てサイズ (**128 Kb**) を維持してください。

最善の方法は、可能であれば、ビデオとオーディオに別々のドライブを使用することです。



システム構成と起動

インストールされているプログラムの多くには、メモリと CPU パワーを消費するバックグラウンド サービスが関連付けられているため、役に立つプログラムのみを実行する必要があります。

!!! 重要なプログラムまたはサービスを削除すると、Windows が起動しなくなる可能性があるので注意してください!!!

Windows のスタート メニュー > すべてのアプリ > Windows ツール > システム構成 に移動します。

サービス

- 「Microsoft のサービスをすべて非表示にする」チェックボックスをオンにします。これらは Windows にとって重要なので、無効にしないでください。
- Bonjourサービスは RAVENNA ネットワークと仮想トランスポートにとって重要なので、無効にしないでください。
- グラフィック カードと ASIO カードのドライバーまたはサービスを無効にしないでください。
- 無効にできる一般的なサービスは、プリンター サービス、Skype、QuickTime アップデータなどです。

スタートアップ

タスク マネージャーへのリンクを開いて、スタートアップのリストにアクセスします。

- Microsoft Windows オペレーティング システムや、システムにとって重要なその他のドライバー プログラムを無効にしないでください。
- 無効にできる一般的なプログラムは、Adobe Reader、Java アップデーター、Skype、QuickTime などです。

これらのプログラムはインストールされてアクセス可能ですが、Windows の起動時に読み込まれません。

- Cortana は無効のままにしてください。



Windows 11 アップデートの設定

Windows 11 は Windows 10 と同様に、ユーザーに確認することなく自動的に更新をインストールします。

以前のバージョンと同様に、更新がうまくいかなかったり、プログラムが新しい更新で動作しなくなり、コンピューターが使用できなくなる場合があります。

これは Pro または Enterprise バージョンでのみ機能し、Home エディションでは機能しません。

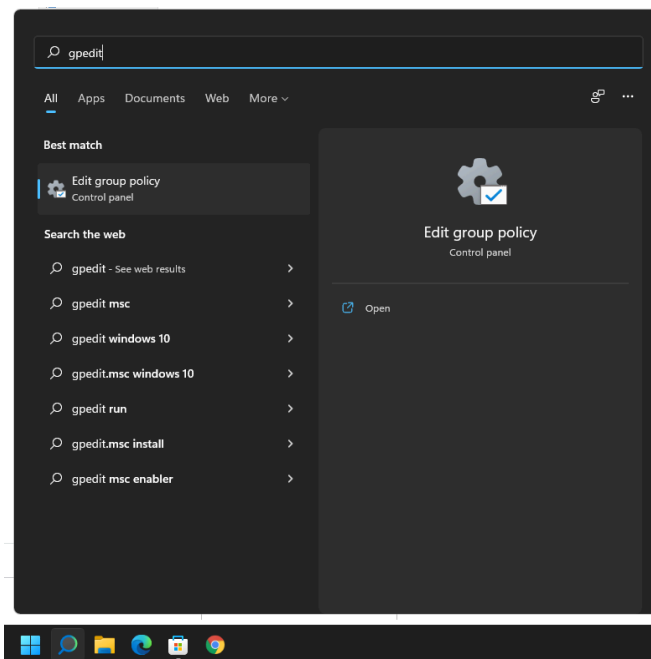
Merging では、Windows の主要な更新によってシステムが使用できなくなる可能性があるため、Windows 11 での更新を延期することを強くお勧めします。

更新は、Pro、Educational、または Enterprise エディションで構成できます。

30日間更新を一時停止することもできます。詳細な手順については、[このページを参照してください](#)。

グループポリシーエディターを使用して更新を構成する

1. Windows 検索フィールドに「GPEDIT」と入力し、「グループ ポリシーの編集」アイコンをクリックします。



2. 「コンピューターの構成」>「管理用テンプレート」>「Windows コンポーネント」>「Windows Update」>「Windows Update から提供される Windows Update」を開きます。
 - a. 「プレビュー ビルドと機能更新プログラムを受信するタイミングを選択」をダブルクリックします。
 - b. 「有効」を選択します。遅延日数を365日に設定します。
 - c. 「OK」をクリックしてこのウィンドウを閉じます。



Select when Preview Builds and Feature Updates are received

Select when Preview Builds and Feature Updates are received Previous Setting Next Setting

Not Configured Comment:

Enabled

Disabled

Supported on: At least Windows Server 2016 or Windows 10

Options: Help:

How many days after a Feature Update is released would you like to defer the update before it is offered to the device?
365

Pause Preview Builds or Feature Updates starting:

(format yyyy-mm-dd example: 2016-10-30)

Enable this policy to specify when to receive Feature Updates.

Defer Updates | This enables devices to defer taking the next Feature Update available to your channel for up to 14 days for all the pre-release channels and up to 365 days for the Semi-Annual Channel. Or, if the device is updating from the Semi-Annual Channel, a version for the device to move to and/or stay on until the policy is updated or the device reaches end of service can be specified. Note: If you set both policies, the version specified will take precedence and the deferrals will not be in effect. Please see the Windows Release Information page for OS version information.

Pause Updates | To prevent Feature Updates from being received on their scheduled time, you can temporarily pause Feature Updates. The pause will remain in effect for 35 days from the specified start date or until the field is cleared (Quality Updates will still be offered).

OK Cancel Apply

3. 「品質更新プログラムを受信したときに選択」をダブルクリックします。
 - a. 「有効」を選択します。
 - b. 「遅延日数」を30に設定します。
 - c. 「OK」をクリックしてこのウィンドウを閉じます。

Select when Quality Updates are received

Select when Quality Updates are received Previous Setting Next Setting

Not Configured Comment:

Enabled

Disabled

Supported on: At least Windows Server 2016 or Windows 10

Options: Help:

After a quality update is released, defer receiving it for this many days:
30

Pause Quality Updates starting

(format yyyy-mm-dd example: 2016-10-30)

Enable this policy to specify when to receive quality updates.

You can defer receiving quality updates for up to 30 days.

To prevent quality updates from being received on their scheduled time, you can temporarily pause quality updates. The pause will remain in effect for 35 days or until you clear the start date field.

To resume receiving Quality Updates which are paused, clear the start date field.

If you disable or do not configure this policy, Windows Update will not alter its behavior.

OK Cancel Apply

4. これで、グループ ポリシー エディター ウィンドウを閉じることができます。
変更を適用するには、コンピューターを再起動する必要があります。



Windows 11 の新しいメジャーバージョンへのアップデートを阻止する

特定の Windows 11 バージョンに固執したい場合は、新しいメジャーバージョンへのアップグレードを防ぐことができます。

このような更新は自動的にダウンロードされてコンピューターにインストールされませんが、Microsoft Update Assistant を使用して手動で更新することは可能です。

1. グループ ポリシー エディターを開き、コンピューターの構成 > 管理用テンプレート > Windows コンポーネント > Windows Update > Windows Update から提供される Windows Update を参照します(上記を参照)。
2. 対象の機能更新バージョンを選択してダブルクリックします
3. 「有効」を選択します。
4. 「どの Windows 製品バージョン...」の下に、**Windows 11**と入力します。
5. 「機能更新のターゲットバージョン」で、必要な Windows 11 バージョンを入力します。

Windows 設定 > システム > バージョン情報を開いて、現在実行している Windows 11 のバージョンを確認します。

aka.ms/WindowsTargetVersioninfo でさまざまな Windows 11 バージョンを見つけることもできます。

The image shows two overlapping windows from a Windows 11 system. The foreground window is titled "Select the target Feature Update version" and is a configuration dialog. It has radio buttons for "Not Configured", "Enabled" (which is selected), and "Disabled". Below these are fields for "Comment:" and "Supported on:". The "Options:" section contains a dropdown menu for "Which Windows product version would you like to receive feature updates for?" set to "Windows 11", and a text input field for "Target Version for Feature Updates" containing "21H2". The "Help:" section contains instructions and a URL: "aka.ms/WindowsTargetVersioninfo". The background window is "System > About" and shows system specifications. Under "Windows specifications", the "Edition" is "Windows 11 Pro" and the "Version" is "21H2", both of which are highlighted with blue boxes. A blue arrow points from the "21H2" in the dialog to the "21H2" in the system information.



DPC レイテンシー チェック

リアルタイム アプリケーションを処理するために、CPU には必要なタスクを実行するための定義された時間が与えられます。

これらのタスクが遅延すると、通常、信号が途切れます。

したがって、このテストは、コンピューターが不具合や途切れなく動作するかどうかを確認するために非常に重要です。

- [LatencyMon](#) ツールをダウンロードし、コンピューターにインストールします。
- 左上隅の再生アイコンをクリックすると、テストを開始できます。
- 有用な結果を得るには、ツールをかなり長い時間(最低 10 分)実行する必要があります。
 - 最も高い DPC または ISR を使用するドライバーまたはプロセスは、メイン ウィンドウに明確に示されます。
 - 値が高すぎる場合は、「プロセス」タブまたは「ドライバー」タブでより詳細な情報を取得できます。
 - ハード ページフォールト解決時間(最後のインジケーター)にあまり注意を払わないでください。
- 値が高い場合は、ドライバー/デバイスを 1 つずつ無効にして、問題の原因となっているドライバー/デバイスを探す必要があります。
 - 一部のデバイスは無効にできないことに注意してください。慎重に進めてください。
 - Wi-Fi、Bluetooth、LAN 固有(通常は ndis.sys)、USB デバイス、オンボード オーディオ、PCI/PCIe デバイスが一般的な原因です。
- ラップトップでは、ACPI バッテリー ドライバーも一般的な問題です(ACPI.sys)。
 - Windows デバイス マネージャーの「バッテリー」にリストされている "Microsoft ACPI 準拠制御メソッド バッテリー" と "Microsoft AC アダプター" を無効にしてみてください(アンインストールしないでください)
 - ただし、システム デバイスにリストされている他の ACPI デバイスを無効にしないように注意してください。コンピューターが起動しなくなる可能性があります)。
- Wi-Fi と Bluetooth に関する注意
 - Wi-Fi や Bluetooth に関連する DPC の問題がある場合、ドライバーだけでなく、Wi-Fi ネットワークの安定性(信号が安定していない場合、Wi-Fi アダプターは常に動作している必要があり、DPC の遅延が発生します)やコンピューターに接続されている Bluetooth デバイスも原因である可能性があります。
 - したがって、ある場所で Wi-Fi が DPC の問題を引き起こさなくても、Wi-Fi が不安定な別の場所では引き起こす可能性があります。
 - 同じことが Bluetooth にも当てはまり、特定のデバイスでのみ DPC の問題を引き起こす可能性があります。コンピューターで Wi-Fi や Bluetooth を使用する場合は注意してください。